

中学校英語の新教科書の比較検討

—効果的な授業づくりを目指して—

研究員 黒田 貴子

はじめに

平成24年度より、中学校は新学習指導要領の完全実施となり、教科書が変わる。各教科で教科書の採択が行われ、英語においては今回、乙訓地域はONE WORLD(教育出版)、南丹地域はSUNSHINE(開隆堂)、その他の地域の山城、中丹、丹後はNEW HORIZON(東京書籍)となる。山城、中丹、丹後はNEW HORIZONで変わらないが、まず、ページ数が増えており、内容では、単語の語彙数、文法事項の配列、本文の内容など少しずつ変わっている。また、乙訓、南丹地域は、ONE WORLD, SUNSHINEにそれぞれ教科書が変わることにより、英語の授業は大きく変わる。なぜなら、出てくる単語の順番、文法事項の配列、内容の構成など非常に変わる。さらに、教科書が変わることで、単語の未習・既習の確認、文法事項の既習・未習を把握しなければならない。また、昨年度より小学校では新学習指導要領により、外国語活動の全面実施ということで、小学校外国語活動を意識した内容がどの教科書にも盛り込まれている。中学校では、生徒たちがどのように小学校で外国語活動を学んできたかを理解した上で、指導の仕方も変えていく必要がある。中学校英語の新教科書を比較してみると、どの教科書を見てもとても研究され、工夫を凝らして作られているので、よいところをうまく利用して授業に取り入れながら展開できれば効果的な授業ができるのではないかと思う。

小学校外国語活動の面からの比較

新しい中学校学習指導要領の内容の中の言語活動の取扱いの中に、「小学校における外国語活動を通じて音声面を中心としたコミュニケーションに対する積極的な態度などの一定の素地が育成されることを踏まえ、身近な言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語活動を行わせること。その際、自分の気持ちや身の回りの出来事などの中から簡単な表現を用いてコミュニケーションを図れるような話題を取り上げること。」とある。そのため、各教科書は1年の導入段階において、様々な工夫がされている。

まず、NEW HORIZONでは、あいさつ、教室で使う英語、アルファベット、英語の音とつづり、数字、週、月日、色、名前の書き方が本課に入る前に扱われている。また、SUNSHINEでは、あいさつ、身の回りにあるものの英語、色、数、英語を聞いてみよう、自分のことを言ってみよう、発音に気をつけて言ってみよう、と始まり、本課からアルファベットを学ぶこととなる。ONE WORLDは、英語で言えるものを探そう、英語を聞いてみよう、アルファベットを学ぼう、単語を聞いて発音してみよう、自己紹介を聞こう、という順から始まり、本課へとつながっていく。ただ、注意が必要なこともある。NEW HORIZONは本課に入る前のWARM UPのところに週、月日、色の学習があるが、ここで習うことで本課では既習単語として扱われる。また、ONE WORLDでは、Classroom EnglishがWarm upや本課で使われず、付録として掲載されている。SUNSHINEは本課に入ってから、アルファベットが入り、さらにその後で、Classroom Englishが掲載されている。各教科書の構成を知り、生徒が分かりやす

く、学びやすいように授業を組み立てることも必要かと思われる。

本課に入る前の内容

NEW HORIZON	SUNSHINE	ONE WORLD
1 あいさつ 出会いのあいさつ わかれのあいさつ	1 新しい友だちをつくろう 授業のはじまりのあいさつ 授業のおわりのあいさつ	1 英語で言えるものを探そう
2 教室で使う英語 先生が生徒に 生徒が先生に	友だちにあいさつ	2 英語を聞いてみよう
3 アルファベット	2 身の回りにあるものの英語 色 数	3 アルファベットを学ぼう
4 英語の音とつづり 音と文字を結びつけよう 異なる発音をする文字に注意 しよう 音とつづりの関係に気づこう	3 英語を聞いてみよう 自分のことを言ってみよう	4 単語を聞いて発音してみよう
5 数字	4 発音に気をつけて言ってみよう	5 自己紹介を聞こう
6 週		
7 月日		
8 色		
9 名前		

文字と発音の面からの比較

中学校学習指導要領には、言語材料の取扱いに、「発音と綴りとを関連付けて指導すること。」と書かれている。この項目は、小学校において外国語活動が導入されたことを踏まえ、今回の改訂で新たに示したものである。小学校における外国語活動では、音声を中心に慣れ親しみ、それを受けて中学校では文字を通した学習が始まることから、音声と文字の関係に触れた学習をすることが適切であることを示したものである。

そのため、各教科書において、音と文字を意識した内容が組み込まれている。NEW HORIZONでは、「音と文字を結びつけよう」の中では、CDなどの英語を聞いて音と単語の綴りを線で結びつける内容、また「異なる発音をする文字に注意しよう」の中では、(ant/apron)や(car/city)など__の音の違いに注意しながら、英語を聞いて発音する内容や、「音とつづりの関係に気づこう」では、例えば、(lake/family/name)の3つの単語の中から__の発音がほかと違うものを選ぶ内容などである。また、巻末に応用編があり、基本的な発音を覚えよう、異なる発音のしかたを覚えよう、基本的なルールを覚えようという内容が盛り込まれている。SUNSHINEでは、「アルファベットになれよう」の中に、アルファベットの文字と音があり、日本語の「イー」に近い音を発音するアルファベット(b, c, d, g, p, t, v, z)、日本語の「エ」に近い音を発音するアルファベット(f, l, m, n, s, x)が挙げられている。また、母音は2つの発音を聞き、まねして発音する内容が織り込まれている。また、巻末資料として、英語のつづり字と発音が表となって掲載している。ONE WORLDは「単語を聞いて発音してみよう」の中に単語を聞いて、赤い文字に注意して、発音して

みようとする。赤い文字のところを注目させながら発音する内容となっている。

以前の教科書より、発音と綴りとを関連付けて指導する内容がかなり多く含まれているのがわかる。そこで、各教科書でまとめられている部分を参考にして、指導していけば、音と文字、まずは音とアルファベットをつなげ、その後、英語のつづり字と発音の関係の一定のきまりを教えることにより、単語を予想して読めるように練習を重ねると、単語が覚えやすくなっていくのではないだろうか。特に、アルファベットから英単語へのハードルをできるかぎり低くすることにより、書くことへの抵抗をできるだけなくす。単語が書けるようになれば、英語に対する関心も増すのではないか。また、発音記号の表記に教科書により違いがある。例えば、clock の発音記号は[klak]と表記されているのが、New Horizon と SUNSHINE であり、ONWE WORLD では[kla:k]と表記されている。同じように、他には、body や follow などがあるので、指導者は留意する必要がある。

辞書指導の面からの比較

中学校学習指導要領では、「辞書の使い方に慣れ、活用できるようにすること。」とあり、3年間を通して適宜辞書を活用させることが大切である。そのため、各教科書にも、辞書指導について含まれている。NEW HORIZONでは、2年生で「辞書の使い方」が書かれている。SUNSHINEでは、辞書指導の内容が学年ごとに触れられている。1年の初期段階に「辞書を引いてみよう」という中に、どのような順序で単語が並んでいるかが説明されている。さらに、2年では、「辞書を読んでみよう」とあり、英和辞典の内容が詳しく扱われている。3年の「辞書を使いこなそう」では、熟語や成句の調べ方が書かれている。ONE WORLDにおいては、かなり詳しい内容が組まれている。3学年にまたがって、辞書の選び方、単語の探し方、名詞の調べ方、動詞の調べ方、文中における単語の意味の調べ方、連語（イディオム）の調べ方、形容詞の調べ方、アクセントや音節の調べ方、名詞の記述、動詞の記述とかなり詳しく書かれている。辞書指導においては、辞書の引き方だけでなく、授業の中で、辞書を引く機会をどんどん作ることも重要である。生徒たちが辞書を引くことを楽しんでできれば、語彙数が広がっていくだろう。

辞書指導の内容

	New Horizon	SUNSHINE	ONE WORLD
1年		辞書を引いてみよう (英和辞書の順序について)	辞書を引こう① (辞書の選び方、単語の探し方) 辞書を引こう② (名詞の調べ方、動詞の調べ方)
2年	辞書の使い方	辞書を読んでみよう (英和辞典の調べ方)	辞書を引こう① (文中における単語の意味の調べ方、連語の調べ方) 辞書を引こう② (形容詞の調べ方、アクセントや

			音節の調べ方)
3 年		辞書を使いこなそう (熟語や成句の調べ方)	辞書を引こう (名詞の記述、動詞の記述)

まとまった形での自己表現につながる活動の面からの比較

中学校学習指導要領に書かれているように「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の四つの領域にバランスに配慮した言語活動を行うことが重要である。そのため、各教科書において、各学年ほぼ3つずつのテーマによる自己表現活動の設定がされている。自己表現活動は今まで習ってきたことを絡み合わせ、4技能を統合して自己表現する内容になっている。どの教科書においても、1年の最初のテーマは自己紹介である。同じテーマなので、内容を比べてみると、それぞれに特徴がみられる。NEW HORIZONでは、3文以上の英語で自己紹介をすることを目標としていて、とりあげたい話題を(スポーツ、教科、楽器、その他の中から)1つ選び、自己紹介するようになっている。また、発表の後に質問しあいましょうという構成である。SUNSHINEは4ページにわたっている。特徴は、はじめと終わりのあいさつと本文4文を作るようになっていて、本文は話したいことを(名前、学校名、年齢、出身地、住所、兄弟・姉妹、ペット、趣味、特技、好きな歌手・タレント、好きな食べ物、好きな音楽、好きなスポーツ、部活動、その他の15項目から)4つ選び、書くようになっている。また、発表後に自分を振り返る内容が入っている。ONE WORLDでは、自己紹介する基本的な形は作られていて、その中に自分のことを書いていく内容となっている。あいさつ、名前、呼び方(Call me ___.), 自分のこと(好きな教科・好きではない教科・好きなスポーツなど)を2文、さらに何かものを提示して(This is my ___.)言う、そして終わりのあいさつという7文構成である。最後には、発表者に質問をしようという内容で構成されている。同じテーマでもそれぞれ構成が違うので、よいところを参考にすればよいのではないだろうか。

自己紹介での原稿の内容

New Horizon	SUNSHINE	ONE WORLD
① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____	①はじめのあいさつ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____ ⑥おわりのあいさつ	① Hello, everyone. ② I'm _____ ③ Call me _____ ④ _____ ⑤ _____ ⑥ This is my _____ ⑦ Thank you.(Any questions?)
とりあげたい話題(スポーツ、教科、楽器、その他)から、1つ選び、3文以上の英語で書く	②～⑤は名前、学校名、年齢、出身地、住所、兄弟・姉妹、ペット、趣味、特技、好きな歌手・タレント、好きな食べ物	④、⑤は好きな教科、好きではない教科、好きなスポーツなどから書く ⑥は何かを見せながらする

	物、好きな音楽、好きなスポーツ、部活動、その他から4つ選び、書く	
--	----------------------------------	--

また、教科書によって、それぞれテーマが変化し、行事や文化、自分の町の紹介をしたり、アンケートをしてグラフにして発表させたり、自分の夢を語ったりするなど、様々に設定されている。学校や生徒の実態に合わせ、教科書そのままでもなく、アレンジすることができるのではないかと思う。

まとまった形での自己表現活動のテーマ

	New Horizon (Multi Plus)	SUNSHINE (My Project)	ONE WORLD (Project)
1年	自己紹介	自己紹介をしよう	自己紹介をしよう
	一日の生活	人を紹介しよう	友だちの1日を紹介し合おう
		どんどん質問しよう	日本とアメリカの中学生のライフスタイルを調べてみよう
2年	夏休み	対話をつなげよう	外国からの留学生の友だちやALTに3日間の日本の旅を提案しよう
	町紹介	将来の夢を語ろう	自分の夢を語ろう
	好きなこと・もの	賛成意見や反対意見を言おう	アンケート調査をして発表しよう
3年	文化紹介	有名人にインタビューしよう	自分たちの町のガイドブックを作ろう
	修学旅行	伝統文化を説明しよう	環境問題を扱った新聞を作ろう
	なりたい職業	自己PRしよう	ディベートをしよう

さいごに

New HorizonからSUNSHINEやONE WORLDに変わる場合、英文の表記の仕方がかわっていることがある。例えば、No, it's not.の表記からSUNSHINE ONE WORLDではNo, it isn't.と変わる。また、「too」の扱いでは、Nice to meet you, too.と教えていたものが、SUNSHINEでは、Nice to meet you too. と「too」の前に「,」(コンマ)をつけない表記となっているので、生徒が混乱しないような指導が必要であるだろう。

教科書が変わることで、授業に向けての教材研究やワークシートの作成、さらに、既習・未習の語、文法などを調べたりと、今まで以上に時間を費やすことが多くなると思われる。しかし、生徒たちが「英語っておもしろい!」「わかった!」という笑顔のため、それぞれの教科書の良さを効果的に授業に生かせるように努力を続けていければと思う。